ニュース専修
●「専修大学」ホームページ●
http://www.senshu-u.ac.jp/
毎月1回15日発行
（定価一部90円）
発行所
専修大学広報課
〒101-8425
東京都千代田区
神田神保町3－8
☎03-3265-5819（直）

2011年の年頭にあたって

骨太の大学改革を積極推進

学校法人専修大学理事長・専修大学長　**日髙　義博**

新年、明けましておめでとうございます。今年は、本学にとって、大学改革の正念場です。大学間競争が一層激化する中で、入学定員割れを起こす大学も目立ってきました。幸い本学は、法人と教学が一体となって大学改革に取り組み、二極分化の分水嶺から脱却しつつあります。しかし、大学淘汰の時代にあって、盤石な人的・物的基盤を築くには、21世紀ビジョン「社会知性の開発」を教育・研究の羅針盤とし、骨太の大学改革を積極的に推進していかなければなりません。

専修大学では、昨年4月に開設した新学部「人間科学部」及び文学部の新学科「人文・ジャーナリズム学科」は、関係者の尽力により順調な活動を見せていますが、コンセプトに立脚した大学改革の推進は、今後の石巻専修大学の発展にとって極めて重要です。さらに、石巻専修大学と専修大学との教育・研究上の有機的連携を図り、「社会知性の開発」に幅の広さと深みを創出する必要があります。石巻専修大学も専修大学も、共に同一の校歌を歌い、共に「社会知性の開発」を目指していることを強く意識し、大学力を高めるための共働体制を築く必要があります。

国際交流会館（仮称）建設に着工など

専修大学北海道短期大学においては、すでに機関決定がなされていますように、23年度入学試験を実施せず、4月から学生募集停止となります。在籍している学生の教育には全力を注がなければなりません。廃止後の教職員の処遇問題については、現在、北海道短期大学プロジェクト委員会が鋭意取り組んでいます。今後、解決に向け諸々の処置が講じられましょうが、誠意のある対応をしていく所存です。

昨年の明るい出来事の一つに、専修大学創立130周年記念映画『学校をつくろう―その時、若者たちは未来を見た―』（文部科学省選定）の製作があります。この映画は、幕末の動乱の中を生き抜いた創立者たちが、明治維新後、強靭な精神力をもって米国に留学し、近代の学問を修得して、帰国後「専修学校」を立ち上げるまでを描いた青春物語です。2月19日から有楽町スバル座などで上映されます。学生、卒業生をはじめ多くの専修人が鑑賞することを願っています。学問することの意味を省察し、専修人としての自信と誇りの源を見出してもらえればと思います。映画は学校法人専修大学が製作しましたが、校友会、育友会をはじめ多くの方々から物心両面にわたる多大なご支援をいただきました。深甚なる謝意を表します。映画に描かれた創立者たちの熱き思いは、大学改革の正念場を乗り切る上でも、大きな力になるものと確信しております。

主なニュース
社会関係資本研究センターシンポジウム／法学部学術講演会……❷
現役合格者に聞く（公認会計士試験）／合格者祝賀会……❸
寄稿・いまを生きる私たちの「生きづらさ」……❺
育友会奨励賞／アジア理解プログラム……❻
石巻専修大学　坂田隆学長「年頭の抱負」……⓬
北海道短大　寺本千名夫学長「年頭の抱負」……⓭

テレホンサービス
（お知らせ・緊急連絡）
0180-994-994
本紙へのご意見をお聞かせください
koho@acc.senshu-u.ac.jp

出願受付中!
スカラシップ・全国入学試験（一部）
○試験日2月1日
全学部全学科
※郵送　1月25日まで（消印有効）
前期入学試験（一部）
○試験日は学部学科・方式により異なります
※郵送　2月3日まで（消印有効）
※窓口　2月4日
神田キャンパス
詳細は入学願書またはホームページで必ずご確認ください
入学センターインフォメーション
【神田キャンパス】TEL03-3265-6677
【生田キャンパス】TEL044-911-0794
http://www.senshu-u.info

社会知性フォーラム ―子どもと教育―

専修大学玉名高等学校と専修大学が共催

玉名市民会館大ホールに生徒・市民ら650人

▲　専大玉名高校吹奏楽部のマーチングバンド演奏

日髙学長が基調講演
杉山、小峰両教授講演

専修大学玉名高等学校（久和基利校長・熊本県）と専修大学共催の「社会知性フォーラム―子どもと教育―」が、昨年12月23日、熊本県の玉名市民会館大ホールで開催された。同校の生徒、校友・育友会員、市民ら約650人が来場し、日髙義博学長の基調講演と、本学2教員の講演を聴講した。

日髙学長は「本学は21世紀ビジョンとして『社会知性の開発』を掲げており、『社会知性』を発信する場として、このようなフォーラムを今後も開催する予定です。今回は高校生に『なぜ学ぶのか』を、さらに教育に関心を持つ方に『なぜ教育に携わるのか』を考えていただこうと、テーマを設定しました」と開催の趣旨を説明した。

続いて杉山博亮法科大学院客員教授が「法感覚を養う」をテーマに講演。

「法は音楽と同じくらい身近な存在。大人と子どもが気軽に語り合える環境が大切ですが、そのためには共通の法感覚が必要」と教育の意義を述べた。

▶　法教育について講義する杉山客員教授

また、「『悪法も法なり』という言葉が今なお幅をきかせていますが、違憲審査権のある現在、憲法に反するような悪法は法ではありません。今日お話しした『正しさの基準』を使って、身の回りの法やルールを批評してみてください」と結んだ。

小峰直史文学部教授は「学ぶ意欲を高めるーファシリテーションの可能性―」をテーマに、エクササイズを交えながら講演を展開。「学びとは対話のある営みであり、学びを促進する手法にワークショップやファシリテーションの技法があります。これらのノウハウを教育に取り入れることで、そこに集う人々の間に感情や意味の交流が促され、質の高い成果が得られます。青少年の孤独感の高さや自尊感情の低さが指摘されている今日だからこそ、学びの場に対話が起こる仕掛けをする意義があるのです」と論じた。

▶　ファシリテーションについて話す小峰教授

▲　講師の質問に元気よく答える高校生

講演の合間には同校吹奏楽部が演奏を披露した。同部はマーチングバンド・バトントワーリング全国大会に9年連続で出場。昨年12月の大会では高等学校の部・マーチングバンド部門（小編成）で金賞、編成別最優秀賞を受賞した。

7～10面に映画『学校をつくろう』特集